

JAPIA統一データシート概要

本書の目的

- ・ 本資料は、JAPIA統一データシート(以降、JAPIAシートと記述)の概要説明です。
- ・ 最新版のJAPIAシートとその関係資料は、以下より入手できます。

JAPIA Webサイト (<https://www.japia.or.jp/>)

CEMA Webサイト (<http://www.cema.or.jp/>)

JIVA Webサイト (<http://www.jiva.or.jp/>)

2021/07/01

JAPIAシート連絡会

目次

I . 基本情報	－ － － － － P.3
1. JAPIAシートについて	－ － － － － P.4
2. 運営主体とサプライチェーン利用範囲	－ － － － － P.5
3. システム要件・動作環境	－ － － － － P.7
4. 改正作業と日程	－ － － － － P.8
5. パスワードと動作期限	－ － － － － P.9
6. 操作方法	－ － － － － P.10
7. 旧バージョンとの互換性	－ － － － － P.11
8. 著作権	－ － － － － P.12
II . Ver.4.01&4.01a&4.01b&4.01cリリース情報	－ － － － － P.13
・ Ver.4.00 → 4.01&4.01a&4.01b&4.01c改正内容	－ － － － － P.14
・ アプリケーションコード更新情報詳細	－ － － － － P.15
・ VDA材料分類コード改正内容詳細	－ － － － － P.17
・ 材料リスト変更(または改正)内容詳細	－ － － － － P.20
・ JAPIAシートVer.4.01c 2021年7月1日版資料一覧	－ － － － － P.27
・ 別紙:BSL変更内容	－ － － － － 別紙
来歴	－ － － － － P.28

I . 基本情報

- ・ 本章では、JAPIAシートの基本情報を説明します

1. JAPIAシートについて

JAPIAシートは、環境規制への対応のため、製品中に含有する材料・物質の調査に使用する目的で、一般社団法人 日本自動車部品工業会(JAPIA)を含むJAPIAシート連絡会(次ページ参照)にて合意された帳票です。

JAPIAシートには下記の特徴があります。

- ・JAPIAシートの前に使用されたJAMA/JAPIA統一データシート(以下、JAMAシートと記述)Ver.2.01以降に対し、データの上位互換性があります。
- ・JAMAシートとは異なる独自の物質リスト使用しています。
- ・データ作成の基本事項はJAMAシート同様、IMDSを踏襲しています。
「JAPIA統一データシート運用規則」の最新版を参照。
(入手先はP.1参照)

2. 運営主体とサプライチェーン利用範囲

(1) 運営主体

名称: JAPIAシート連絡会

組織構成: 一般社団法人 日本自動車部品工業会、
一般社団法人 日本建設機械工業会からの参画企業
一般社団法人 日本産業車両協会からの参画企業
一般社団法人 日本農業機械工業会からの参画企業

役割:

- ・ JAPIAシート自体の維持
(各企業の製品含有化学物質管理のために必要な、
物質調査ツールを維持する)
- ・ JAPIAシートによる物質調査運用の統一性維持※1
(サプライチェーンで物質調査を円滑に行なうために欠かせない、
運用方法の統一を維持する)

※1: 建設機械・産業車両・農業機械の業界において、既に産業界に認知されている他の物質調査ツール(IMDS、chemSHERPA、CDX、など)を企業間の合意に基いて使用することを妨げるものではなく、また、物質調査ツールの使用が困難な場合に企業間の合意に基いて非含有宣言書を使用することも妨げない。ただし、JAPIAシートの書式、管理対象物質(GADSL)、JAPIAシート運用規則から外れた運用は行ってはならないという趣旨

(2) サプライチェーン利用範囲

【自動車業界】

サプライチェーン上の各サプライヤ内(自動車メーカーは使用しない)

【建設機械・産業車両・農業機械の業界】

1) 各参画企業内※2

2) 各参画企業が過半出資(51%以上)または経営に強く関与している子会社内※2

3) 1)、2)のサプライチェーン上の各サプライヤ内

※2 建設機械、産業車両、農業機械だけでなく、その会社の全事業で利用可能

3. システム要件・動作環境

JAPIAシートを利用するためには、マイクロソフトWindows及びMS-Excelが必要です。

最新の動作環境は、JAPIA, CEMA, JIVA Webサイト及び、入力マニュアルの最新版を参照してください。

4. 改正作業と日程

以下の目的のため、原則、年間3回改正しますが、事前の通知はしない。

改正日	記入帳票	外部リスト	ユーザ物質登録 申請の締め切り
4月1日	(改正しない)	GADSL改正を反映	12月末
7月1日	(改正しない)	JIS改正を反映	3月末
10月1日	機能追加	GADSL改正を反映	6月末

必要に応じ、改正時期は見直す。

ユーザは、原則、最新版を使用。ただし、円滑な切り替えのため会社間では1か月程度の並行運用期間を設けること。

ファイル名に付属する年月日(YYMMDD)で、新旧版を判断します。

5. パスワードと動作期限

(1) パスワード

記入帳票

- ・JAPIAシート連絡会及びJAPIA会員に限定的に開示する
- ・その製品供給元へはサプライチェーンに沿って個社で開示する
- ・自動車サプライチェーンではあるが、JAPIA会員以外の企業を起点としてJAPIAシートを使用する場合はJAPIA事務局に問い合わせパスワードを入手する

外部リスト

- ・JAPIAシート連絡会の著作物を含むため、ユーザへは非開示とする

(2) 動作期限

記入帳票

- ・原則、次期バージョン発行後、1か月間有効

外部リスト

- ・必ず指定された最新の外部リストを利用すること
(ただし、旧外部リストは最新の外部リスト発行後1か月間有効)

6. 操作方法

(1) 記入帳票と外部リストを入手します

- ・JAPIA, CEMA, JIVA Webサイトからダウンロードしてください(入手先はP.1参照)
- ・記入帳票と外部リストは同じフォルダに保管ください
(同じフォルダにないと、データ入力・エラーチェック作業ができません)

(2) 記入帳票を開いて、入力帳票にデータを入力してください

- ・マニュアルを参考に、データを入力します
 - ・記入帳票(Excel)は、マクロを有効にする必要があります
 - ・行全体をコピーするときは、[行複写]をクリックしてください
 - ・行全体を削除するときは、[行削除]をクリックしてください
 - ・[選択]をクリックすると表示された一覧表から選択入力ができます
- 【注】 GADSLにあり閾値以上含有する物質は、入力する必要があります

(3) 入力データのエラーチェックをします

- ・[入力データのチェック]をクリックすると、エラーチェックを実行します
- ・エラーチェック結果がOKの場合は「エラーはありません」と表示されます
- ・全てのエラーを解消しないと、調査元へ報告することができません

【注】 エラーチェックは入力形式のチェックを実施するものです

エラーなしでも調査元からデータ内容を確認されることがあります

(4) 調査元へ提出します

- ・[CSVファイルの出力]をクリックして、CSVファイルを作成し提出ください

7. 旧バージョンとの互換性

(1) 外部リスト

互換性なし。

必ず指定された最新バージョンの外部リストを利用して下さい。
(入手先はP.1参照)

旧バージョンの外部リストは、エラーチェックや選択入力が正しく動作しないため利用することができません。

(2) CSVファイル

互換性あり。

旧バージョンにて作成したCSVファイル*でも取り込みできます。
ただし、入力内容によっては、外部リストの見直しに伴い、
エラーが発生する可能性があります。この場合データの修正が必要となります。

*: JAMAシートのCSVファイル(Ver.2.01～3.02b)も含む

8. 著作権

JAPIAシートに関する著作権は、JAPIAシート連絡会が保有しています。

(JAPIAシート記入帳票より抜粋)

《 注意事項 》

全ての関連資料に対して、下記の行為は禁止されていますので、遵守して下さい。

- ・ 会社間で製品環境負荷物質情報のやり取りを行う以外の目的で利用することはできません。
- ・ 関連資料/プログラムは著作権およびその他の知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。不正に流用することはできません。
- ・ 売買基本契約等の会社間の契約を締結していない第三者に配布することはできません。

ただし、外部リスト中の物質リストについてはJAPIAが著作権を保有しています。

Ⅱ . Ver.4.01 & 4.01a & 4.01b & 4.01c リリース情報

- ・ 本章では、JAPIAシート改正時リリース情報の概要を説明します

<Ver.4.00 → 4.01&4.01a&4.01b&4.01c改正内容>

ファイル	改正項目	改正内容
記入帳票	BSL置換え処理	エラーチェック時 に、毎回実行
外部リスト	アプリケーションコード	P.15～16を参照 IMDSの2020/6/17変更に対応(廃止2件、新設8件)
	BSL	「別紙:BSL変更内容_210701.pdf」 ・P.1～7を参照 追加申請への対応, SVHCフラグ適正化など ・P.8～115を参照 GADSL 2021 Ver1.0 改正による変更など ・P.116を参照 追加申請への対応
	VDA材料分類コード	P.17～19を参照 1.2, 5.4, 5.5.1, 8.1, 8.2を無効化 (ただし、外部リストのファイル名称は変更しない) P.18 暫定処置を取り消します(保留解除)
	材料リスト	P.20～25を参照 JIS改正内容の反映、IMDSとの整合 P.20を参照 JIS改正内容の反映
外部リスト説明資料	I. 物質リスト	「JAPIAシートBSL収載物質追加申請書」の提出先を変更
	II. 材料リスト	VDA材料分類英日対照表の1.2, 5.4, 8.1, 8.2行をグレーに着色
	III. Appendix:外部リスト抜粋版	シート「IMDS_APP」を追加 シート「MAT」を変更 / シート「MAT」を変更 / シート「MAT」を変更
入力マニュアル	I. 簡易入力マニュアル III. 入力事例	誤記訂正他
JAPIAシートマニュアル	全般	誤記訂正他
管理対象物質説明資料	-	管理対象物質をGADSL2021Ver.1.0に変更
-	参考情報	P.26参照 「IMDSリリース13.0の含有率小数点以下桁数拡張に関する対応方法」

アプリケーションコード更新情報(1/2)

更新	ID	Application	Application(日本語参考訳)
廃止	59	8(g) - Lead in solders to complete a viable electrical connection between semiconductor die and carrier within integrated circuit flip chip packages	8(g) - 集積回路のフリップチップ・パッケージ内の半導体ダイとキャリア間の、持続可能な電気接続を完全にするためのはんだ中の鉛
追加	75	8(g)(i) - Lead in solders to complete a viable electrical connection between semiconductor die and carrier within integrated circuit flip chip packages	8(g)(i) - 集積回路フリップチップパッケージ内の半導体ダイとキャリア間における確実な電気接続に必要なはんだに含まれる鉛
	76	8(g)(ii-i) - Lead in solders to complete a viable electrical connection between the semiconductor die and the carrier within integrated circuit flip chip packages where that electrical connection consists of a semiconductor technology node of 90 nm or larger	8(g)(ii-i) - 集積回路フリップチップパッケージ内の半導体ダイとキャリア間における確実な電気接続に必要なはんだに含まれる鉛(90nm半導体テクノロジーノード以上)
	77	8(g)(ii-ii) - Lead in solders to complete a viable electrical connection between the semiconductor die and the carrier within integrated circuit flip chip packages where that electrical connection consists of a single die of 300 mm ² or larger in any semiconductor technology node	8(g)(ii-ii) - 集積回路フリップチップパッケージ内の半導体ダイとキャリア間における確実な電気接続に必要なはんだに含まれる鉛(いずれの半導体テクノロジーノードにおいても300mm ² 以上の単一のダイ)
	78	8(g)(ii-iii) - Lead in solders to complete a viable electrical connection between the semiconductor die and the carrier within integrated circuit flip chip packages where that electrical connection consists of stacked die packages with dies of 300 mm ² or larger, or silicon interposers of 300 mm ² or larger	8(g)(ii-iii) - 集積回路フリップチップパッケージ内の半導体ダイとキャリア間における確実な電気接続に必要なはんだに含まれる鉛(300mm ² 以上のダイか300mm ² 以上のシリコンインターポーザーを有する積層ダイパッケージ)
追加	79	8(k) - Soldering of heating applications with 0,5A or more of heat current per related solder joint to single panes of laminated glazings not exceeding wall thickness of 2,1 mm. This exemption does not cover soldering to contacts embedded in the intermediate polymer	8(k) - 合わせガラスに使用されるハンダ(各ガラス層の板厚が2.1mm以下かつハンダ接合部上の電流が0.5A以上)。ただし、中間ポリマーに埋め込まれた接点へのはんだは対象としない。

アプリケーションコード更新情報(2/2)

更新	ID	Application	Application(日本語参考訳)
廃止	22	14 - Absorption refrigerators in motorcaravans	14 - モーターキャラバンの吸収冷蔵庫
追加	80	14(i) - Hexavalent chromium as an anticorrosion agent of the carbon steel cooling system in absorption refrigerators up to 0.75% by weight in the cooling solution designed to operate fully or partly with electrical heater, having an average utilized electrical power input <75W at constant running conditions	14(i) - 一定のランニング条件で75W未満の平均使用電力である電気ヒーターを完全または部分的に設計された吸収式冷凍機の炭素鋼冷却システムの防食剤で、冷却溶液内に重量で0.75%まで含まれる6価クロム
	81	14(ii) - Hexavalent chromium as an anticorrosion agent of the carbon steel cooling system in absorption refrigerators up to 0.75% by weight in the cooling solution designed to operate fully or partly with electrical heater, having an average utilized electrical power input ≥75W at constant running conditions	14(ii) - 一定のランニング条件で75W以上の平均使用電力である電気ヒーターを完全または部分的に設計された吸収式冷凍機の炭素鋼冷却システムの防食剤で、冷却溶液内に重量で0.75%まで含まれる6価クロム
	82	14(iii) - Hexavalent chromium as an anticorrosion agent of the carbon steel cooling system in absorption refrigerators up to 0.75% by weight in the cooling solution designed to fully operate with nonelectrical heater	14(iii) - 電気ヒーターなしで完全に設計された吸収式冷凍機の炭素鋼冷却システムの防食剤で、冷却溶液内に重量で0.75%まで含まれる6価クロム

VDA材料分類コード改正内容詳細(1/3)

IMDSリリース13.0でVDA材料分類コード1.2, 5.4, 5.5.1, 8.1, 8.2が廃止されることに伴い、外部リストを次の通り改正した。

【VDA材料分類コードが1.2, 5.4, 5.5.1の材料】

既に外部リストに存在しないため、外部リストへの反映は無し。

【VDA材料分類コードが8.1の材料】

全142材料のうち、138材料については、廃止して同一内容でVDA材料分類コードが4.2の材料に統合した。

残りの4材料については、VDA材料分類コードを4.2に変更した。

注意: JIS規格又はユニークコード(JAMAXxxx)の材料の場合、過去データのエラーチェックを実行すると、VDA材料分類コードを4.2に自動変換する。しかし、海外規格の材料の場合、過去データのエラーチェックを実行しても、自動変換しないため、材料を再選択するか手動でVDA材料分類コードを4.2に修正する必要がある。

VDA材料分類コード改正内容詳細(2/3)

電子部品中のガラス材料の表記に関するケースで、想定を超えた影響が出始めたため、2021年2月10日に若干の暫定処置を実施しました。

＜JAPIAシートでの暫定処置＞

2021年1月6日に外部リストのみ差し替えを行ないましたが、2月10日に再度外部リストのみ差し替え、以下2点のみ、実施を保留しました。この暫定処置は、2021年6月30日までとし、7月1日改正版において保留を解除します。

Ver.4.01c以降、暫定処置を取り消します(保留解除)

- ・以下の材料の廃止を保留し、**利用可能**としました

構成材料名称	材料規格	材料コード	VDA材料分類コード
Silver/Silver alloy	JAMAA4444	AG@	8.1

- ・以下の自動変換処理を保留し、変換されない様にしました

材料規格	材料コード	VDA材料分類コード
JAMAA4444	AG@	8.1→4.2

詳細情報 (JAPIAホームページ)

<https://www.japia.or.jp/files/user/japia/work/kankyo/JPAAsb/20210210.pdf>

VDA材料分類コード改正内容詳細(3/3)

【VDA材料分類コードが8.2の材料】

「カーボン(ブラシ)」の1材料のみで、廃止して「カーボン」に統合した。
合わせて、「カーボン」のVDA材料分類コードを7.1から7.3に変更した。

注意: 過去データのエラーチェックを実行すると、VDA材料分類コードを7.3に自動変換する。

材料リスト変更(または改正)内容詳細(1/6)

20/28

(1) JIS改正内容の反映

Ver.4.01b 改正内容

JIS規格	改正時期	内容
JISH2222 (ダイカスト用マグネシウム合金地金)	2020年 12月	材料コード変更(成分規定なし) MD1B→MD-AZ91B, MD1D→MD-AZ91D, MD5→MD-AM20A, MD4→MD-AM50A, MD2B→MD-AM60B, MD6→MD-AS21A, MD3B→MD-AS41B 材料追加(成分規定なし) MD-AZX912, MD-AXE500, MD-AXE622, MD-AXJ620, MD-AXS620, MD-AE44, MD-AJ52, MD-AJ62, MD-AJX931
JISH5303 (マグネシウム合金ダイカスト)	2020年 12月	材料コード変更(成分規定あり) MDC1B→MDC-AZ91B, MDC1D→MDC-AZ91D, MDC5→MDC-AM20A, MDC4→MDC-AM50A, MDC2B→MDC-AM60B, MDC6→MDC-AS21A, MDC3B→MDC-AS41B 材料追加(成分規定あり) MDC-AZX912, MDC-AXJ620, MDC-AXS620, MDC-AJ52, MDC-AJ62, MDC-AJX931
JISH3250 (銅及び銅合金の棒)	2021年 1月	材料成分変更(成分規定あり) C1201, C2600, C2700, C2800, C3601, C3602, C3603, C3604, C3605, C3712, C3771, C6802, C6803, C6804, C6932 材料追加(成分規定あり) C6810, C6820, C6931
JISG3108 (みがき棒鋼用一般鋼材)	2021年 2月	材料成分変更(成分規定あり) SGD1, SGD2, SGD3, SGD4
JISG3466 (一般構造用角形鋼管)	2021年 2月	材料成分変更(成分規定あり) STKR490
JISG4801 (ばね鋼鋼材)	2021年 2月	材料追加(成分規定あり) SUP11A, SUP14

Ver.4.01c 改正内容

JIS規格	改正時期	内容
JISG3507-1 (冷間圧造用炭素鋼－第1部:線材)	2021年 4月	材料成分変更(成分規定あり) SWRCH8R, SWRCH8A

材料リスト変更(または改正)内容詳細(2/6)

21/28

(2)IMDSとの整合:IMDS登録名称の変更

<変更前>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料 分類 コード	IMDS 登録名称
Copper Alloy C5050	銅合金	JISH3110	C5050@	3.2	C5050
Copper Alloy C5071	銅合金	JISH3110	C5071@	3.2	C5071
Copper Alloy C5102	銅合金	JISH3110	C5102@	3.2	C5102
Copper Alloy C5111	銅合金	JISH3110	C5111@	3.2	C5111
Copper Alloy C5191	銅合金	JISH3110	C5191@	3.2	C5191
Copper Alloy C5212	銅合金	JISH3110	C5212@	3.2	C5212
Copper Alloy C7451	銅合金	JISH3110	C7451@	3.2	C7451
Copper Alloy C7521	銅合金	JISH3110	C7521@	3.2	C7521
Copper Alloy C7541	銅合金	JISH3110	C7541@	3.2	C7541
Copper Alloy C1751	銅合金	JISH3130	C1751@	3.2	C1751
Copper Alloy C1990	銅合金	JISH3130	C1990@	3.2	C1990

<変更後>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料 分類 コード	IMDS 登録名称
Copper Alloy C5050	銅合金	JISH3110	C5050@	3.2	C5050 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5071	銅合金	JISH3110	C5071@	3.2	C5071 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5102	銅合金	JISH3110	C5102@	3.2	C5102 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5111	銅合金	JISH3110	C5111@	3.2	C5111 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5191	銅合金	JISH3110	C5191@	3.2	C5191 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5212	銅合金	JISH3110	C5212@	3.2	C5212 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C7451	銅合金	JISH3110	C7451@	3.2	C7451 (Nickel silver)
Copper Alloy C7521	銅合金	JISH3110	C7521@	3.2	C7521 (Nickel silver)
Copper Alloy C7541	銅合金	JISH3110	C7541@	3.2	C7541 (Nickel silver)
Copper Alloy C1751	銅合金	JISH3130	C1751@	3.2	C1751 (Low copper beryllium alloy for springs)
Copper Alloy C1990	銅合金	JISH3130	C1990@	3.2	C1990 (Copper titanium alloy for springs)



材料リスト変更(または改正)内容詳細(3/6)

(2)IMDSとの整合:IMDS登録名称の変更(つづき)

備考: JISH3130のC5210については、誤記訂正のため、一部成分の含有率を変更した。

<変更前>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料分類 コード	IMDS 登録名称
Copper Alloy C5210	銅合金	JISH3130	C5210@	3.2	C5210
Copper Alloy C5240	銅合金	JISH3130	C5240@	3.2	C5240
Copper Alloy C7270	銅合金	JISH3130	C7270@	3.2	C7270
Copper Alloy C7701	銅合金	JISH3130	C7701@	3.2	C7701
Copper Alloy C5071	銅合金	JISH3270	C5071@	3.2	C5071
Copper Alloy C5102	銅合金	JISH3270	C5102@	3.2	C5102
Copper Alloy C5111	銅合金	JISH3270	C5111@	3.2	C5111
Copper Alloy C5191	銅合金	JISH3270	C5191@	3.2	C5191
Copper Alloy C5212	銅合金	JISH3270	C5212@	3.2	C5212
Copper Alloy C5341	銅合金	JISH3270	C5341@	3.2	C5341
Copper Alloy C7451	銅合金	JISH3270	C7451@	3.2	C7451

<変更後>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料分類 コード	IMDS 登録名称
Copper Alloy C5210	銅合金	JISH3130	C5210@	3.2	C5210 (Phosphor bronze for springs)
Copper Alloy C5240	銅合金	JISH3130	C5240@	3.2	C5240 (Phosphor bronze for springs)
Copper Alloy C7270	銅合金	JISH3130	C7270@	3.2	C7270 (Copper nickel tin alloy for springs)
Copper Alloy C7701	銅合金	JISH3130	C7701@	3.2	C7701 (Nickel silver)
Copper Alloy C5071	銅合金	JISH3270	C5071@	3.2	C5071 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5102	銅合金	JISH3270	C5102@	3.2	C5102 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5111	銅合金	JISH3270	C5111@	3.2	C5111 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5191	銅合金	JISH3270	C5191@	3.2	C5191 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5212	銅合金	JISH3270	C5212@	3.2	C5212 (Phosphor bronze)
Copper Alloy C5341	銅合金	JISH3270	C5341@	3.2	C5341 (Free-cutting phosphor bronze)
Copper Alloy C7451	銅合金	JISH3270	C7451@	3.2	C7451 (Nickel silver)



材料リスト変更(または改正)内容詳細(4/6)

23/28

(2)IMDSとの整合:IMDS登録名称の変更(つづき)

<変更前>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料分類 コード	IMDS 登録名称
Copper Alloy C7521	銅合金	JISH3270	C7521@	3.2	C7521
Copper Alloy C7541	銅合金	JISH3270	C7541@	3.2	C7541
Copper Alloy C7701	銅合金	JISH3270	C7701@	3.2	C7701
Copper Alloy C7941	銅合金	JISH3270	C7941@	3.2	C7941
Stainless Steel SUS630	ステンレス鋼 線材	JISG4308	SUS630	1.1.2	SUS630
Steel SK140	炭素工具鋼	JISG4401	SK140	1.1.1	SK140
Steel SK95	炭素工具鋼	JISG4401	SK95	1.1.1	SK95
Steel SK85	炭素工具鋼	JISG4401	SK85	1.1.1	SK85
Steel SK75	炭素工具鋼	JISG4401	SK75	1.1.1	SK75
Steel SK65	炭素工具鋼	JISG4401	SK65	1.1.1	SK65
Steel SK60	炭素工具鋼	JISG4401	SK60	1.1.1	SK60



<変更後>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料分類 コード	IMDS 登録名称
Copper Alloy C7521	銅合金	JISH3270	C7521@	3.2	C7521 (Nickel silver)
Copper Alloy C7541	銅合金	JISH3270	C7541@	3.2	C7541 (Nickel silver)
Copper Alloy C7701	銅合金	JISH3270	C7701@	3.2	C7701 (Nickel silver)
Copper Alloy C7941	銅合金	JISH3270	C7941@	3.2	C7941 (Free-cutting nickel silver)
Stainless Steel SUS630	ステンレス鋼 線材	JISG4308	SUS630	1.1.2	SUS630 (Stainless steel)
Steel SK140	炭素工具鋼	JISG4401	SK140	1.1.1	SK140 (Carbon tool steel)
Steel SK95	炭素工具鋼	JISG4401	SK95	1.1.1	SK95 (Carbon tool steel)
Steel SK85	炭素工具鋼	JISG4401	SK85	1.1.1	SK85 (Carbon tool steel)
Steel SK75	炭素工具鋼	JISG4401	SK75	1.1.1	SK75 (Carbon tool steel)
Steel SK65	炭素工具鋼	JISG4401	SK65	1.1.1	SK65 (Carbon tool steel)
Steel SK60	炭素工具鋼	JISG4401	SK60	1.1.1	SK60 (Carbon tool steel)

材料リスト変更(または改正)内容詳細(5/6)

24/28

(2)IMDSとの整合:IMDS登録名称の変更(つづき)

<変更前>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料 分類 コード	IMDS 登録名称
Superalloy bars NCF600	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF600	3.4	NCF600
Superalloy bars NCF601	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF601	3.4	NCF601
Superalloy bars NCF625	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF625	3.4	NCF625
Superalloy bars NCF690	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF690	3.4	NCF690
Superalloy bars NCF718	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF718	3.4	NCF718
Superalloy bars NCF750	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF750	3.4	NCF750
Superalloy bars NCF751	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF751	3.4	NCF751
Superalloy bars NCF800	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF800	1.1.2	NCF800
Superalloy bars NCF800H	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF800H	1.1.2	NCF800H
Superalloy bars NCF825	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF825	3.4	NCF825
Superalloy bars NCF80A	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF80A	3.4	NCF80A

<変更後>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料 分類 コード	IMDS 登録名称
Superalloy bars NCF600	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF600	3.4	NCF600 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF601	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF601	3.4	NCF601 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF625	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF625	3.4	NCF625 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF690	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF690	3.4	NCF690 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF718	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF718	3.4	NCF718 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF750	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF750	3.4	NCF750 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF751	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF751	3.4	NCF751 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF800	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF800	1.1.2	NCF800 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF800H	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF800H	1.1.2	NCF800H (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF825	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF825	3.4	NCF825 (Corrosion and heat resisting superalloy)
Superalloy bars NCF80A	耐食耐熱 超合金棒	JISG4901	NCF80A	3.4	NCF80A (Corrosion and heat resisting superalloy)



(3)IMDSとの整合:VDA材料分類コードの変更

<変更前>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料分類 コード	IMDS 登録名称
Zinc phosphate coating	リン酸亜鉛処理	EN ISO9717	Znph	9.8	Zinc phosphate coating
Iron phosphate coating	リン酸鉄処理	EN ISO9717	Feph	9.8	Iron phosphate coating
Manganese phosphate coating	リン酸マンガン処理	EN ISO9717	Mnph	9.8	Manganese phosphate coating
Zinc calcium phosphate coating	リン酸カルシウム処理	EN ISO9717	ZnCaph	9.8	Zinc calcium phosphate coating
Zinc phosphate coating Ni-content	リン酸亜鉛処理(ニッケル入り)	EN ISO9717	ZnNiph	9.8	Zinc phosphate coating Ni-content

<変更後>

構成材料名称 (英語)	構成材料名称 (日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	VDA 材料分類 コード	IMDS 登録名称
Zinc phosphate coating	リン酸亜鉛処理	EN ISO9717	Znph	7.3	Zinc phosphate coating
Iron phosphate coating	リン酸鉄処理	EN ISO9717	Feph	7.3	Iron phosphate coating
Manganese phosphate coating	リン酸マンガン処理	EN ISO9717	Mnph	7.3	Manganese phosphate coating
Zinc calcium phosphate coating	リン酸カルシウム処理	EN ISO9717	ZnCaph	7.3	Zinc calcium phosphate coating
Zinc phosphate coating Ni-content	リン酸亜鉛処理(ニッケル入り)	EN ISO9717	ZnNiph	7.3	Zinc phosphate coating Ni-content



注意: 過去データのエラーチェックを実行すると、VDA材料分類コードを7.3に自動変換する。

IMDSリリース13.0の含有率小数点以下桁数拡張に関する対応方法

【背景】

2021年3月10日IMDSリリース13.0で、物質含有率の小数点以下桁数が6桁から9桁に拡張されました。

イメージ: 12.000003% → 12.000003001%

【JAPIAシートの対応】

今後、JAPIAシート連絡会で協議し決定します。

【IMDSデータをJAPIAシートに変換する際の当面の対応】

桁落ち防止のため、以下の方法を推奨します。

小数点以下7桁目以降を四捨五入します。ただし、結果が「0」になる場合は最小の有効な数字として「0.000001」とします。

また、その旨を客先に伝達するかについては、BtoBでご相談ください。

IMDS上の元データ	JAPIAシート用に変換したデータ
0. <u>000000</u> 001 ~ 0. <u>000000</u> 499	0. <u>000001</u> (有効な数値に切り上げ)
0. <u>000000</u> 500 ~ 0. <u>000001</u> 499	0. <u>000001</u> (四捨五入)
0. <u>000001</u> 500 ~ 0. <u>000002</u> 499	0. <u>000002</u> (四捨五入)
12. <u>000000</u> 500 ~ 12. <u>000001</u> 499	12. <u>000001</u> (四捨五入)

【含有率の固定値を自動計算する場合のJAPIAシートの処理】

含有率を最大値、最小値または残部で表記する場合、固定値が自動計算されますが、含有率の合計が100%に一致しなくなる場合は、小数点6桁目を増減し、材料の含有率値合計が100%になるように自動調整します。
(従来と同様の挙動です。)

< JAPIAシートVer.4.01c 2021年7月1日版資料一覧 >

資 料		ファイル名称		
[0]概要				
JAPIA統一データシート概要	日	JAPIAシート概要_210701.pdf		
	EN	JapiaSheet_Overview_EN_210701.pdf		
	別紙:BSL 変更内容	日	別紙:BSL 変更内容_210701.pdf	
		EN	Appendix: BSL Changes_210701.pdf	
[1]運用規則				
JAPIA統一データシート運用規則	日	JAPIAシート運用規則_200501.pdf		
[2]記入帳票				
JAPIA統一データシート(記入帳票)	日	JapiaSheet_JP_201001.xlsm		
	EN	JapiaSheet_EN_201001.xlsm		
	中	JapiaSheet_CH_201001.xlsm		
[3]外部リスト				
JAPIA統一データシート(外部リスト)	日	EXLIST-2021-07-01JP.xlsx		
	EN	EXLIST-2021-07-01EN.xlsx		
	中	EXLIST-2021-07-01CH.xlsx		
外部リスト説明資料	日	外部リスト説明_210701.pdf		
	EN	ExList_Guide_EN_210701.pdf		
Ⅰ.物質リスト				
Ⅱ.材料リスト				
Ⅲ.Appendix: 外部リスト抜粋版				

資 料		ファイル名称	
[3]外部リスト(続き)			
外部リスト説明資料(続き)			
Appendix: 外部リスト抜粋版	日	外部リスト抜粋_210701.xlsx	
	EN	ExList_Abstract_EN_210701.xlsx	
[4]マニュアル			
入力マニュアル Ⅰ.簡易入力マニュアル Ⅱ.Q&A Ⅲ.入力事例	日	入力マニュアル_201001.pdf	
	EN	Input_Manual_EN_201001.pdf	
	日	入力事例_201001.xlsx	
	EN	JapiaSheet_Sample_EN_201001.xlsx	
	日	JAPIAシートマニュアル_201001.pdf	
[5]管理対象物質			
管理対象物質説明資料 Ⅰ.管理対象物質の考え方 Ⅱ.GADSLリファレンスリスト Ⅲ.参考:GADSL分類の日本語訳	日	管理対象物質説明_210401.pdf	
	EN	GADSL Reference List 2021Ver.1.0.xlsx	
	日	参考:GADSL分類の日本語訳 2021Ver.1.0.xlsx	

来歴

来歴	改正日	適用Ver.	改正内容
N	2020/05/01	4.00	新規作成
1	2020/10/01	4.01	Ver.4.01に関する情報を追記した。
2	2021/01/11	4.01a	IMDSリリース13.0のVDA材料分類コード1.2, 5.4, 5.5.1, 8.1, 8.2廃止に伴い変更した。
3	2021/04/01	4.01b	外部リストの修正内容を追記した。 管理対象物質をGADSL2021Ver.1.0に変更した。
4	2021/07/01	4.01c	外部リストの修正内容を追記した。
5			